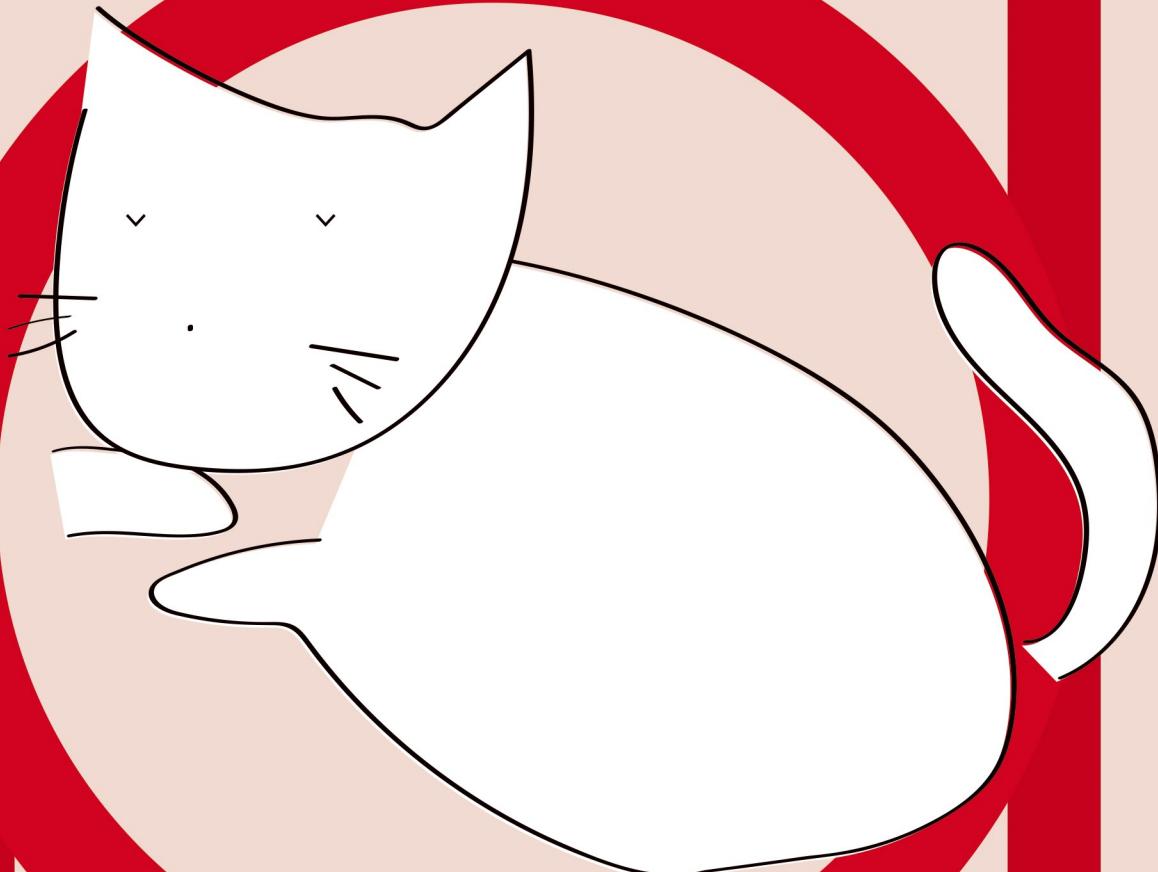


椅子選びの 視点

027



連載企画

神戸ぐらしはじめました。

○○さんの神戸めし：奥村千織さん

世界のデザイン都市ガイド：ケープタウン

特集 椅子選びの視点



山極博史

家具デザイナー。1970年生まれ。大阪・堺筋本町で家具工房「うたたね」を構える。KIITO CAFEのスツールをデザイン・製作するなど、KIITOとの縁も深い。
<http://www.utatane-furniture.com/>

— 展覧会のタイトルは、日本語にすれば「椅子はサイズです」という意味になります。

山極：はい。「サイズ」がキーワードになつてます。僕ら作り手がオーダー家具をつくるときには、当然、サイズを気にしていますけど、一般の方って家具のサイズのこと興味がない、というか、まったく気にしてないのではという思いがままありました。ほとんどの人が自分の靴のサイズは知つてますよね。じゃあ、あなたの椅子のサイズは? って聞けば…。



— 確かに、答えられる人はほとんどいません。山極：ですよね。食卓の椅子なんてほぼ毎日座るものなのに、靴のとえで言えば、ブカブカの靴を毎日履いてるような状態。だから、日本人にも腰痛の方が多いのだと思います。

— 椅子のサイズ問題から腰痛が発生していると。

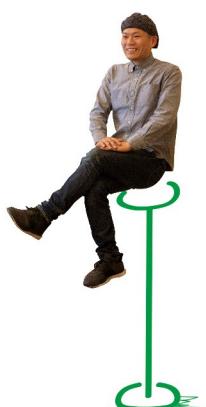
山極：腰への負担がジャブのように日々蓄積した結果だと思います。なので、せめて自分の椅子のサイズを知つてもらえたらというところから、今回の企画はスタートしました。

— どんな展示になるでしょう。

山極：40センチ、41センチ……と座高のサイ

普段、なにげなく椅子を使っている人も多いでしょう。ですが、実は、椅子を選ぶという行為には用途、色や形の好みなど、いろんな要素が含まれています。スニーカーでは、2020年3月から「家具とのつきあい方を考える」をコンセプトとした展覧会「イス・イズ・サイズ展」を開催します。

まずは、今回の展覧会で中心的な役割を果たす、家具デザイナーの山極博史さんに話を聞きました。



— 椅子好きが増えて、名作椅子の話などもかなり知られていきましたけど、サイズの話は意外と抜け落ちてました。

山極：名作と呼ばれる椅子を自宅に置いてる人も少なくないでしょうけど、実は図書館用にデザインされた椅子を食卓に使ったり、結核患者のためにデザインされたという由来の椅子をソファ代わりにしていたりして、その結果、名作椅子なのに座りにくい! って思つてられる方も多いはず。それは、サイズの問題と用途が違っているんですね。まだまだ見つけた困つていることなどにあわせて椅子をつくって展示します。

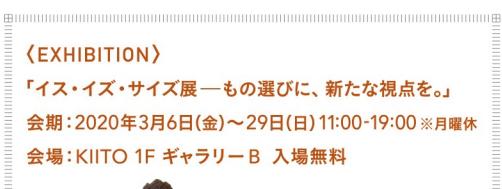
— オーダーメイドを徹底したような椅子ですね。

山極：たとえば、ピアニストに取材をすると、ピアノにはすごくこだわって、椅子は既成のものを使うしかない状況で、けど、本当はそれぞれに弾くときの癖があるそうなんです。なので、曲によって座る位置を変えたり、椅子の向きを変えたりして弾いていると聞きました。

— 身体の方で強引に椅子に合わせている。

一般家庭の椅子サイズ問題がより鮮明な形で現れていますね。

山極：そうなんです。他にも、身長190センチのセネガル人の方や80歳くらいの高齢者の方など、いろんな立場や年齢の方に取材をし、椅子をつくる予定です。



〈EXHIBITION〉

「イス・イズ・サイズ展—もの選びに、新たな視点を。」

会期: 2020年3月6日(金)~29日(日) 11:00-19:00 ※月曜休

会場: KIITO 1F ギャラリーB 入場無料

— 椅子好きが増えて、名作椅子の話などもかなり知られていきましたけど、サイズの話は意外と抜け落ちてました。

山極：名作と呼ばれる椅子を自宅に置いてる人も少なくないでしょうけど、実は図書館用にデザインされた椅子を食卓に使ったり、結核患者のためにデザインされたという由来の椅子をソファ代わりにしていたりして、その結果、名作椅子なのに座りにくい! って思つてられる方も多いはず。それは、サイズの問題と用途が違っているんですね。まだまだ見つけた困つていることなどにあわせて椅子をつくって展示します。

— 椅子好きが増えて、名作椅子の話などもかなり知られていきましたけど、サイズの話は意外と抜け落ちてました。

山極：名作と呼ばれる椅子を自宅に置いてる人も少なくないでしょうけど、実は図書館用にデザインされた椅子を食卓に使ったり、結核患者のためにデザインされたという由来の椅子をソファ代わりにしていたりして、その結果、名作椅子なのに座りにくい! って思つてられる方も多いはず。それは、サイズの問題と用途が違っているんですね。まだまだ見つけた困つていることなどにあわせて椅子をつくって展示します。

関西で活動する美術家、ショップオーナー、デザイナーという3人の椅子を見せていただきました。
椅子とのつきあい方は三者三様。
みなさんは自分らしい家具とのつきあい方、見つけられていますか？

いつから使っている椅子ですか？

実家の食卓でずっと使った椅子で、僕の記憶の中では、この椅子の下でごろごろしてたような暮らしだったので、自分の目線より上にある感覚がまだ残っています。だから、背のところには子供の頃に貼ったシールがそのまま。40年以上前に今のお家に引っ越して以降、納戸に押し込んでいたものを、家で制作するのに座る場所が必要になって、あるから使おうか、って引っ張り出してきた(笑)。

座り心地はどうでしょう

作業する日は1日中座ってるけど、欠点は特になし。適度に乱雑に扱っても、後ろめたくないというのもある(笑)。のこぎりを使うときの台にすることもあるし、塗装がついても平気やし。ガタは相当できますよ。座面も剥がれてきたからテープで留めて。応急処置もいいとこ。中に追加したスポンジですら、買ったわけじゃなくてどこからかできた梱包材の転用ですから。



美術家
伊達伸明さんの椅子
□使用歴：約50年
□使っている場所：自宅のアトリエ



この椅子との出会いは？
うちの店でラオスの手仕事をずっと扱ってきたこともあって、ラオスのことはすごく身近に感じていて。ある日、うちと同じようにラオスの物を扱うお店のインスタグラムに、この椅子の画像があがってきたんです。聞けば、ラオスの人たちがちくちく縫ったりするような作業をするのに使ってる椅子だって。なんとなく愛嬌があるし「これは絶対にほしい！」と思ったので、サイズも何も聞かないで、勢いで取り寄せました(笑)。

座り心地はどうでしょう
座り心地はいいんですけど、インターネットを通じて購入したので、届いてみたら、思っていたよりも随分、座面が大きかった(笑)。なので、ちょっと靴下を履くときに使ったりとか、地べたに座ってコーヒー やお菓子なんかを置くテーブル代わりにも使っています。すごく軽いのでしゃっちゅう移動させてますね。

椅子などの家具の選びかた

すでにあるものをちょっと加工してなんとかならんかなーとやっちゃうタイプなので、自分で選ぶ

という判断をしてないかもしれません。あらためてこの椅子を使うことにしたときも、他との比較検討はほとんどしてません。物置きや棚に使っているものでも、ふと、その物に出会っちゃって、それを今あるものとどう組み合わせたら使い勝手がよくなるかって、パッチワーク的に考えるのが大好きで。かなり受動的な性格なんだと思います。

伊達伸明

取り壊される建物の一部を使ってウクレレを制作する「建築物ウクレレ化保存計画」として、75以上の建物をウクレレ化。各地でのプロジェクトや展覧会にも参加している。



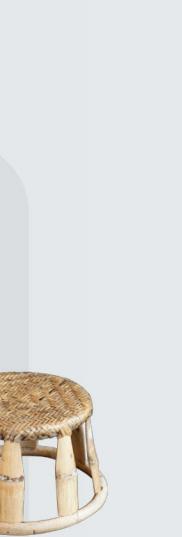
自宅に椅子は何脚ありますか？
7脚かな。いちばん古くからある椅子は、ダイニングテーブルで使っているアルヴァ・アルトの椅子で、結婚したときに買いました。当時は北欧家具が好きで見た目とかで買っちゃったけど、腰骨のところが背もたれに当たったりして、旦那にもいろいろと言われて(笑)。いま買うなら絶対に座り心地重視で選び直します。

表ゆかり
神戸・阪急六甲駅そばで、民藝の器や手仕事道具を集めた店「フクギドウ」「フクギドウ201号室」を営む。店内では展覧会やワークショップなどのイベントを開催しています。



フクギドウ店主
表ゆかりさんの椅子

- 使用歴：2年ほど
- 使っている場所：家のあちこち



使つてますか？



座り心地はどうですか？
この椅子は、座る時間を限定しながら、敬意を払って丁寧に使っています。僕、椅子は体にフィットしなくともいいと思っていて。たとえば、ちょっと背筋がのびるような椅子をあえて選べば、体つきや姿勢が変わる。だらけた生活してるな、きゅっとしたいなと思ったらこの椅子に座ってみたり。椅子ひとつで緊張感を持つことができるんです。



椅子の魅力について
昔から椅子が好きで、いろんな種類のものをを集めています。椅子って座るだけが存在意義じゃないと思う。1脚でもキャラクターがあるし、数が揃うとファミリーのようにも見える。椅子それぞれのキャラクターに向きあうことを意識すれば、楽しい関係性を持てるから。プロポーションひとつ、座面の高さが1mm違うだけでもいつもの景色を変えてくれる、特別な存在だと思ってつきあっています。

服部滋樹

1970年大阪生まれ。インテリアショップ、デザイン会社勤務を経て、1998年にgraf設立。デザインを軸としながら、インテリア、建築、アート、コミュニケーションデザインなどの領域で活動している。

graf代表、クリエイティブディレクター
服部滋樹さんの椅子

- 使用歴：2年
- 使っている場所：ダイニング



What's on

ダンス×ファッション×…のパフォーマンス開催。

先進的な活動を展開するアーティストの創作と発表の場を提供する(KIITO アーティスト・サポートプログラム)。2019年度は、ダンス、ファッション、音楽、テクノロジーのコラボレーションから新たな可能性を提示する『XHIASMA・キアスマ』プロジェクトによるリサーチとショーケースを開催します。ダンサー・振付家の湯浅永麻、ファッションデザイナーの廣川玉枝に加え、world's end girlfriendを音楽に迎えてパフォーマンスをおこないます。



XHIASMA Reserch #002

日時：2020年3月6日(金)19:30
会場：KIITOホール
料金：有料(ウェブサイトにてご確認ください)
演出・振付：湯浅永麻
出演：アラン・ファリエリ、湯浅永麻
音楽：world's end girlfriend
衣裳：廣川玉枝(SOMA DESIGN)
技術：遠藤 豊(LUFTZUG)
主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸
キアスマ実行委員会
企画制作：Dance New Air

News

クリエイターの仕事場を見学できる、全館イベントを開催。

KIITOに入居しているデザイナーや建築家などの仕事場(クリエイティブルボ)を特別公開するプログラム「オープンKIITO」を今年も開催。ラボの公開だけでなく、クリエイターによるワークショップや限定ショップも開かれます。生糸検査所時代の建物の歴史を紹介するガイドツアーなども。普段は見ることのできないKIITOの一面をのぞいてみてください。



オープンKIITO 2020

日時：2020年3月14日(土)11:00～16:00
会場：KIITO館内各所
料金：無料(一部ワークショップや販売は有料)
主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

©芦田博人

Report

「おしゃれ」を磨き、より充実した毎日を。

洋裁で日々の暮らしを楽しく、豊かにするため、技術やセンスを学ぶ「大人の洋裁教室3」がスタートしました。10月に開催した「和服を仕立て直す(トップス編)」では、着物リメイクの実演の他、持ち寄った生地を囲んで参加者が意見交換する場面も。同じ興味関心をもつ方々の交流の場にもなっており、会場は和やかな雰囲気に包まれました。月に1回、テーマを変えて開催しています。1月、2月の講座も順次お申し込み受付中！



大人の洋裁教室3

日時：2020年1月25日(土)13:00～16:00
「着る人に寄り添った洋裁」
2020年2月29日(土)13:00～16:00
「和服を仕立て直す(ボトムス編)」
会場：KIITO
参加費：1,000円
対象：おおむね50歳以上の男女
講師：見守貞子(神戸芸術工科大学)
笹崎綾野(神戸芸術工科大学)
韓先林(フリーデザイナー)
主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸
協力：神戸芸術工科大学芸術工学部
ファッションデザイン学科

神戸ぐらしはじめました。

7人目

佐藤千苗さん

(塩屋シフクノオト店主)

神戸歴：7ヶ月（取材時点）



長年、建築設計の仕事をしてきた佐藤さんは、自分の店を作るために生まれ育った塩屋に越してきました。仕事で学んだノウハウを駆使し、店舗リサーチ、イベント出店など2年間の綿密な計画を経て、2019年7月、ゆっくりとした時間の中で料理を楽しめる店を塩屋にオープンしました。

神戸への移住、最近増えているそうです。

神戸に越して間もないあの人、気になる質問をぶつけてみました。

身についた技を活かして 夢を現実に。

幼少期から間取り図を見るのが好きだったという佐藤さん、選んだ物件の決め手はやはり間取り。1階部分の面積が広く店を開くにはピッタリだったそう。床貼りからペンキ塗りなど、住みながら改装作業を進める中で、最も頭を悩ませたのはムカデ対策。家中の隙間を目張りするといった作戦を経て、理想の空間を作り上げました。自分の人生をどう選ぶのか。佐藤さんのやわらかな雰



イラスト：安藤友美 (KII TO)

囲気の中に、母として、一人の人間としての芯を感じる時間でした。

奥村千織さんの 神戸めし

トクサンの「おでん盛り合わせ」



暖簾をくぐると、にぎやかな声と美味しい香り。いわせた常連さんと「風邪治りました?」「もうすっかり元気です」と話しながら、奥村さんはいちばん好きというおでんの豆腐を注文し、瓶ビールに手を伸ばします。数多くのイベントに参加する書店店主の顔の広さを、行きつけの居酒屋で垣間見た瞬間でした。

おでん屋 トクサン [元町]

神戸市中央区栄町通2-5-3

07.奥村千織さん (1003)

元町で営業する、ビールも飲める書店「1003」店主。コウベボーダーズの一員としてKII TOのイベントにも出店。



5問でわかる 世界のデザイン都市ガイド

デザイン都市って何？世界の「デザイン都市」担当者に共通の質問を投げかけて解きほぐします。第14回は、アフリカ大陸の最南端、「喜望峰」を擁するケープタウンから。

Vol.14 南アフリカ・ケープタウン | Cape Town

- ユネスコのデザイン都市・ソウルが主催する国際的な賞「Human City Design Award 2019」を受賞した「Dunoon Learning and Innovation Project」です。このプロジェクトは、コンパクトな都市デザインがいかに人々と都市環境の間に調和をもたらし、持続可能な関係をつくり、住民の生活を改善できるかを示しています。
- ケープタウンのラッパー YoungstaCPT の最初のミュージックビデオのひとつ「Salutas」です。アフリカーンス語、英語、コサ語、アラビア語などが混ざり合ったヒップホップ曲で、ケープタウンの街や市民に対する洞察力に富んでいておもしろく、そして感動的なメッセージを伝えています。
- ラグビーワールドカップ2019日本大会での南アフリカの優勝。
- 木工にハマっています。手を使いものづくりのプロセスを体験することで、自分が知らないことやできないことにいらだちながらも同時にやりがいを見つけています。
- 南アフリカでは非常に困難な問題に直面したとき、よく「make a plan (計画を立てよ)」と言います。その意味は、リソースの限界やタスクの難易度に関係なく、創意工夫により課題を解決するということです。優れたデザインは、生活改善のための課題解決手法なのです。

答えてくれた人

Robin Jutzenさん

クリエイティブ産業、特にデザイン、アニメーション、ゲーム、ファッション、映画の分野に重点を置く産業促進部門の責任者としてケープタウン市役所の企業投資部で働いています。



今号のデザイナー | 坂田佐武郎 京都出身。2018年に写真家・成田 舞とNeki inc.設立。本やパッケージ、ロゴマークなど、グラフィックデザインの分野で活動中。

KIITO NEWSLETTER VOL.027

2020年1月発行

「KIITO NEWSLETTER」は、
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)が
年4回発行する情報誌です。
センターのコンセプトである+クリエイティブな
活動を発信していきます。

発行：デザイン・クリエイティブセンター神戸
出版部 安藤友美・大泉愛子

編集：竹内 厚 (Re:S)

デザイン：坂田佐武郎・橋川真由子 (Neki inc.)
写真：成田 舞 (Neki inc.)

KIITO:

ACCESS

阪急・阪神神戸三宮駅、JR三ノ宮駅より
フランワードを南へ徒歩20分
国道2号線を超えた神戸税関東向かい
神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅より徒歩10分
ポートライナー貿易センター駅より徒歩10分
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

CONTACT

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

TEL: 078-325-2235

E-mail: info@kiito.jp

開館時間: 9:00~21:00

休館日: 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日) 年末年始12/29-1/3

<http://kiito.jp/>

